

県域 準絶滅危惧



環境省レッドリスト(2018) 準絶滅危惧(NT)

福井県内に広く分布するが生息場所は限られる。大型のオス(婚姻色)。福井市産 全長:約8cm

コイ科 アブラボテ属

【全長】10cm

ヤリタナゴ

学名: *Tanakia lanceolata*

分布域

本州・四国・九州北中部に分布する。

生息域

水田地帯の水路や河川・湖などに広く生息する。



あわら市産のオス若魚。全長:約6cm

日本産タナゴの仲間では最も分布域が広い。体高はやや低く、体幅は厚味がある。口髭は比較的長い。背鰭の条間膜に黒色の斑紋があり特徴的。食性は雑食性で付着藻類や底生動物などを食べる。産卵期は春(4月下旬~5月)で、産卵期間としては比較的短い。1回の産卵で30~200個の卵を産む。母貝にはマツカサガイやカタハガイなど、中型の二枚貝を好む様だが、ドブガイやイシガイにも産卵する。

水槽での飼育は可能。餌は配合飼料や冷凍赤虫に慣れる。産卵期のオスは性格がやや荒くなり、水槽内でも縄張りを形成する。少し大きめの水槽で小数飼育をするのが望ましい。

在来種

純淡水魚

※福井県内の平野部に広く分布・生息する。また、婚姻色などに地域差が認められる。今後、詳しく調査してみたい。県内の生息地・生息数とも間違いなく減少傾向にある。